会　　議　　録

会議の名称	平成31(2019)年度　第1回地域福祉計画推進会議	
開催日時	平成31年4月12日（金）15時00分～17時00分	
開催場所	宍粟市役所本庁舎　401会議室	
議長（委員長・会長）氏名	地域福祉計画推進会議会長 藤　原　慶　二	
委員氏名	（出席者） 藤原慶二(会長)、釜井廣子(副会長)、 波多野好則、南光隆允、大杉史郎、 一坪光惠、杉本憲昭、大前好美、 河津光重、谷林由美、山本正幸	（欠席者） 春名スマ子
事務局氏名	健康福祉部 　世良部長、大谷次長 健康福祉部社会福祉課 　橋本次長兼課長、久内係長、山岸主事	
傍聴人数	０人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） 別紙のとおり	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	

（会議の経過）

発言者	議題・発言内容
	１　開　会
（事務局）	
	２　あいさつ
（会長）	（１）会長　あいさつ
（事務局）	（２）健康福祉部長　あいさつ
	３　委員の紹介等
（事務局）	委員名簿をもとに説明。新規で参加されている山本委員（市民公募委員）の紹介。
（委員）	山本委員あいさつ
（事務局）	事務局として記載の事務局職員が出席していることを申し伝えます。
	４　報告事項
（事務局）	続きまして次第４報告事項となります。ここから先につきましては会長により進行をお願いいたします。
（会長）	改めましてよろしくお願いします。では、「社会福祉法の改正(地域共生社会の実現に向けた取組の推進)及び第４期兵庫県地域福祉支援計画」について事務局から説明をお願いします。
（事務局）	事務局より地域共生社会の実現に向けての概要と兵庫県の計画の概要について説明。
（会長）	ありがとうございます。今の説明に対して何かご意見ご質問はありますでしょうか。
	（意見なし）
（会長）	質問等ないようですので、次第５協議事項に進みます。
	５　協議事項
（会長）	５の協議事項は次第が（１）（２）と分かれており、市民アンケート調査結果と今後のスケジュールとなっていますが、この調査結果を受けて次回以降の策定委員会のスケジュールへ関係してくるところもありますので、２つをまとめて

	事務局から説明をいただき、その後質疑応答へ進めていきたいと思います。では事務局から説明をお願いします。
（事務局）	（１）市民アンケート調査結果について(資料事前配布) （２）今後のスケジュール等について 事務局より調査結果報告書、アンケート調査結果の内容について説明。 スケジュールと合わせてクロス集計による分析、庁内における施策の進捗把握の実施などを説明。このプロセスを経て計画骨子案、計画素案を作成していくことを説明。
（会長）	ありがとうございます。では、気になるところ等、ご意見ご質問いただければと思います。
（事務局）	(会長へ)このアンケート結果報告書の問２の回答者の年代ですが、60～70 歳代からの回答が多いという結果が出ました。そのため、この年代分布をもって個別の質問をクロス集計すると高齢者の意見・回答が重くなるのでしょうか。
(会長)	そうですね。宍粟市は総人口に対し高齢者が多いなかで、やはり市民の関心が高いのは高齢者分野になると思います。在宅生活の介護保険サービス関係の関心が高いというアンケート結果もおそらくこの年代分布と相関しているかと感じます。アンケートはアンケートとしてもちろん貴重な資料だと思いますが、これに引っ張られないような考え方は確実に持っておかないといけないです。それこそ、先ほど事務局から質問があったように、今回のアンケートの結果は高齢者からの回答の比率が高く、障がい者分野等の他分野からの意見が少なくなっていることも想定されます。また、若い世代の定住を促進する中で、若い世代からの回答が少ないという結果が出ているのも事実です。今後、その辺りをどうフォローしていくかも必要になってくると思います。
(委員)	たしかに、このアンケート結果のみでは他分野の意見が少ないことが伺えます。他分野への配慮が疎かにならないような計画策定が必要かと思います。例えば、障がい者分野であれば、障がい福祉計画等のアンケートも参考になると思います。また、問 32(社会福祉協議会で充実してほしい活動・支援)を問５(地区)でクロス集計してはどうかと思います。ここ数年で、宍粟市北部の千種・波賀・一宮の北部辺りの生活が相当変わってきています。第３期地域福祉計画の策定の際にはこういったことにも配慮していただければと思います。
(委員)	平成 17 年に 4 町が合併し宍粟市となり 10 数年が経過しましたが、合併から時が経つにつれ、旧町ごとの独自性や地域性が現れてきました。先ほど委員が言われたように、特に宍粟市北部において、買い物難民等の課題も生じております。社会福祉協議会としても、市全体の取り組みを進めていく中で、旧町の特徴や現状を踏まえたアプローチが必要と考えますので、問 32 の地区ごとの結果は情報として頂けたらありがたいと思います。
(事務局)	個別計画として、宍粟市の関係各課の個別計画等で取りまとめたアンケート

	の結果についても事務局で依頼をかけて情報として提供いただけるように手配したいと思います。
（会長）	国から地域福祉計画は他の個別計画の上位計画という位置づけが出ています。そのため、基本は各分野別の計画が地域福祉計画に合わすという、この関係性も押さえておけばいいかと思います。
（委員）	私は就労継続支援Ｂ型で障がいを持つ方を支援していますが、利用者の中に本アンケートの回答者がいました。しかし、このアンケートは、その方が回答するには難しい部分もあり、私がアンケートの設問内容を説明し理解を得ながら回答してもらいました。このことから、本アンケートの設問内容は障がいを持つ方が回答するには難しく、アンケート作成者の意図が十分に理解されないまま返送されていることも想定されます。結果として、50％以上の返送がありましたが、どれだけの信用性があるのかも少し考慮して内容を分析する必要があると思います。
（会長）	難しいところです。だからといって回答者の意見を対象から外すと無作為ではなくなってしまいます。こういった地域福祉を考えるアンケートはどうしても質問の量も増えていき、大分削ってもまだ答える側からすれば情報量の多いものになったり負担があったりするのは、ある程度やむを得ない部分もあるかと思います。
（委員）	７月豪雨があったなか、市民の災害関係への関心は高まっていると思います。そのため、消防防災課とも連携を取り、消防計画災害計画との整合性をとりながら、地域福祉計画の中でも災害時のことを押さえるべきかと思います。
（会長）	確かに、近年自然災害が多発していますので、万が一に慌てないよう日頃の避難訓練は大切です。また、避難所には、寝たきりに近い高齢者や障がいを持たれた方、乳児が来ることも想定され、避難が長期化することで不安になる方もいるかと思います。計画策定の際は、そういった方への配慮も必要となるかと思います。
（委員）	一人暮らしの高齢者や障がい者は単身での避難所への避難が難しく、そういった方はまず民生委員を頼りますが、民生委員だけでは全員に対応しきれない現状にあります。今後、より高齢者が増えていく以上、地域全体で支えていく体制づくりが必要と考えます。
（副会長）	それぞれの自治会に自主防災の意識があり、そのなかで皆の役割分担は決まっていても、なかなかうまく機能していないのが現状だと思います。そういった機能を確立させ、万が一に備えることこそが大事な部分になると思います。
（事務局）	役職の方だけで対応できるような時代ではなくなっていくということも視野に入れ、さまざまことを計画に含める必要があると思います。

（会長）	今回のように、民生委員さんの実際の声を実際に聞くことで、初めて課題が見えてくると思います。そのうえで、それを計画に落とし込むときに実際どういうシステムを組むべきか、それを誰が、どう担っていくのかという役割分担が今後必要になってくると思います。
（委員）	市内の単身高齢者の中には、民生委員や福祉サービスの存在を知らず、地域との関わりもないため、だれにも手を差し伸べられず孤独になっている方もおります。そういった方への支援のあり方についても検討し、より多くの人に手を差し伸べられる計画策定を目指す必要があると考えます。
（会長）	先ほどの意見の通り、公的なサービスの啓発も大切であると思います。地域福祉は地域住民が主体と思われがちですが、どこが主体ということはなく、専門職や行政、地域住民が一体となって構築いくものであると思います。
（委員）	第２期宍粟市地域福祉計画取組内容検証シートについて、評価が５段階、プルダウンと言われましたが数字で１から５という形の示しなのか、私は５と言えば通信簿だと最もよい評価のような気がします。
（事務局）	評価欄には、「１　計画を上回る取り組みができた」といったように文章が入ります。たとえば計画に少し届かなかった場合は「３　計画に取り組んだが目標に少し届かなかった」という文章までが入るような形にする予定にしています。今後の方向性についても同様です。
（会長）	アンケート問３７に自由記述がありますが、集計の予定はありますか。
（事務局）	現在取りまとめ入力中です。取りまとめたデータについては整いましたら郵送等により委員の皆様へお送りしたいと思います。
（委員）	検証シートについて、年度ごとの目標は掲げていないのか。
（会長）	単年度目標は掲げていません。
（事務局）	単年度目標はありませんが、第２期宍粟市地域福祉計画から第３期地域福祉計画への切れ目のない計画策定のためには４年経った時点で現計画の今の取り組み状況について検証する必要があると考えます。
（委員）	例えば、２９年度以降の取り組み予定で、「地域や自治会で開催される福祉座談会へ出向き当事者が関わり、自分の～」ということが２番目に書いてありますが、それが３０年度でどうなったかというのが、ここの結果に出るということになりますか。
（事務局）	そうなります。
（委員）	検証シートに記載のある施策は非常に多く、ある程度の優先順位を付ける必

	要があると思います。総合的な計画は非常によい計画ではありますが、掲げた目標の全部ができているのかというと全部が完璧にはできないと思います。できない場合でも、「これを最優先でする。その次にこれをしていこう。」という進め方が必要かと思います。
（事務局）	この地域福祉計画というのは、さまざまな関係機関が横断的に実施するものであり、年度ごとの取り組みは難しいものがあります。しかし、この計画期間のなかで、宍粟市全体の福祉や個別計画を支えていく計画となればいいと思っております。そういった意味で、次の計画を策定するにあたり、こういった形で一度は現計画を振り返り、今の段階で各施策が「どういうビジョンを持って取り組んできて、どのような立ち位置になっているのか」ということは把握をしたいと思い、提案させていただきました。
（委員）	計画というのは目標があっての計画かと思います。各施策の目標は数字で表せるならそれがいちばんやりやすく、その振り返りをもとにして次のステップへ移りやすいのではないかと思います。
（会長）	地域福祉は何が難しいかといいますと、評価に定性と定量と両方かかってくるところです。地域福祉の計画評価は、定量だけではなく、定性を加えた定量で行う必要があり、例として「A 事業はダメだったけど実は B 事業で A 事業を補えていました。」という結果があって初めて評価として成立すること想定され、必ずしも全てを数値化する必要はないと思います。そのため、計画の評価については、アンケート結果や人口の今後の推計、あるいはこれまでの経緯を見る中で総合的に判断していく必要があります。また、単純に「こういう公式があってこれに当てはめたらこうなります」というような数値の出し方は通用しない時代になっていると思いますので、そういったところについて、宍粟市には旧町の地域性があるところも加味したうえで、皆さまから意見をいただきながら考えていく必要があると思いますので、ご意見があればよろしくお願いします。 （意見なし）
（事務局）	会議後にご意見等がでる可能性もありますので、会議終了後でも直接事務局へ連絡をいただいても構いません。ご意見については、４月２７日から１０連休に突入してしまいますので、４月２４日くらいまでにいただけたらと思います。
（会長）	では、協議事項についてまとめます。１つ目は、自由記述については集計でき次第皆さんと共有することとし、２つ目は会議後でも構いませんので、クロス集計したら良さそうな項目や気になるものがあれば 24 日を目処に事務局へご連絡いただきたいと思います。また、本日の情報に関する疑問点や、評価についても、こういう評価がいいのではないかというご意見や案がありましたら事務局のほうへお伝えいただければと思います。最後に１点ですが、次回の骨子案を提示する際は、クロス集計の結果等を踏まえての骨子案の説明で報告と協

	議検討となると思いますが流れとしてそれでよろしいでしょうか。
（事務局）	クロス集計の結果については、グラフにできるものはグラフで、数値によるものは数値で表し、それをもとに骨子の作成に入らせていただこうと思います。また、結果について、ページが多くなるかもしれませんが作成できた時点で皆さまへ送らせていただいてもよろしいでしょうか。７月予定の会議では、クロス集計の結果に基づいて骨子案続けて作成案を予定している中で、事前に結果をご覧いただき、ご意見をいただくことでより良い骨子となって次の計画策定を行いたいと思っております。
（会長）	会議の事前に送る資料は６割くらいでいいと思います。当日に正式な資料が出てきたら多少の違いはその場で読み込めると思います。では、そういう形で今後進めていきたいと思います。何か他にご意見ご質問あれば伺いますが、大丈夫でしょうか。
	（意見なし）
（会長）	特に無いようですので、今お伝えした形で今後進めていきたいと思います。では協議事項が終わりましたので次第６その他を事務局からお願いします。
	６　その他
（事務局）	次回会議以降の委員交代の確認。南光委員、一坪委員が交代。
（事務局）	本日は、皆さまからの忌憚のないご意見ありがとうございました。次回開催日ですが、予定では７月の上旬としております。今、この日は難しいということがありましたらその日は避けて開催したいと思いますがいかがでしょうか。
	（意見なし）
	次回会議の予定としては７月の 10 日刻みの上旬を予定しております。正式な日時については、会長と調整させていただき、早い段階で会議案内という形でお知らせさせていただこうと思います。それでは閉会となります。釜井副会長から閉会のお言葉をいただきたいと思います。
（副会長）	本日は年度初めの大変お忙しいところ、皆さん会議に出席いただきまして本当にありがとうございました。貴重なご意見を皆さんから出していただきとても良い会議となりました。少子高齢化、人口の減少は宍粟市にとって避けては通れないもので、先ほどもいろんな意見が出ておりましたが、同じ宍粟市でも地域によってその実情は異なっています。県とか国とか、その基準はさまざまですが、この計画が宍粟市にとって実現しやすい計画になりますよう、また次回からも皆さんに貴重な意見をいただきながら、より良い計画となりますよう、よろしくお願い申し上げます。本日は本当にありがとうございました。